PRESS RELEASE

2026 年 11 月 10 日
株式会社ビズリーチ

大阪府教育委員会とビズリーチが連携協定を締結

生徒の主体的なキャリア選択の支援に向け、高校受験を控えた中学生や保護者が
「これからの時代に必要なキャリア観」を学ぶ機会を創出

株式会社ビズリーチ（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：酒井哲也 以下、当社）は、大阪府教育委員会（所在地：大阪府大阪市/教育長：水野達朗）と、高校受験を控えた中学生や保護者が「これからの時代に必要なキャリア観」を学ぶ機会を創出するため、連携協定を締結しました。

本協定を通じて、当社と大阪府教育委員会は、キャリア教育セミナープログラムの共同開発などを行います。当社が保有するキャリアに関するデータや知見を活用するとともに、企業や大学と連携し、今後産業界から求められる人材像や、文部科学省の「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」のモデル校として 2028 年度に開校予定の「大阪府立 FIORA 高等学校（仮称）」をはじめとする専門高校を含めた進路の選択肢を広く伝えていきます。これにより、生徒が将来、自らのキャリアを主体的に選択できる力を育む機会を提供します。当事者である中学生だけでなく、保護者も最新のキャリア観を学べる点が特徴です。

なお、大阪府教育委員会が人材関連サービスを提供する企業と連携し、保護者を対象としたキャリア教育を実施するのは今回が初めてです。



■産業構造の変化と人材不足を受けて変わる教育。中学生の将来のキャリア選択の鍵は「保護者のキャリア観のアップデート」

AI やロボティクスなどの技術が急速に発展するなか、経済産業省の推計[※1]によると、2040 年には先端技術人材が全国で 339 万人不足すると予測されています。そうした変化を見据え、文部科学省は 2026 年 2 月に「N-E.X.T.ハイスクール構想」[※2]を公表しました。本構想は、生

徒一人一人の可能性を広げ、地域や社会を支える人材を育成するための高校教育改革です。文部科学省は、各都道府県に基金を設置し、改革を先導する拠点となる高校等で教育内容や学習環境の改革を先行的に実施するとともに、その成果を地域全体へ普及させる取り組みを進めています。大阪府では、本構想の改革先導拠点校として、IT・ロボティクス・デザインクリエイトなどを含む 6 専攻を設置する「大阪府立 FIORA 高等学校（仮称）」を 2028 年度に開校する予定です。

こうした社会の変化や新たな教育の選択肢が広がるなかで、中学生がそれらを理解し、将来のキャリア選択を主体的に行うためには、身近な存在である保護者の伴走が重要です。実際に、高校 3 年生を対象にした調査では、進路選択において「母親から影響を受けた」と回答した生徒が 8 割、「父親から影響を受けた」と回答した生徒が 5 割を超えるなど、その影響が大きいことがわかります※3。

しかし、産業構造の変化が進み、FIORA 高等学校（仮称）のような新しい教育の選択肢が生まれるなか、中学生が将来を見据えて進路を選択する際に、保護者が十分な情報を得たうえで伴走することは容易ではありません。2026 年 2 月にビズリーチ会員を対象に実施した調査※4 では、保護者の約 8 割が「子どもの進路を一緒に考えるために、自身の情報をアップデートしたい」と回答しました。

■大阪府教育委員会とビズリーチが新たな挑戦。「保護者向けキャリア教育」を通じて、子どもの主体的なキャリア選択を支援

こうした背景を踏まえ、当社と大阪府教育委員会は連携協定を締結し、高校受験を控えた中学生だけでなく、その保護者も「これからの時代に必要なキャリア観」を学べるキャリア教育セミナープログラムの共同開発などを行います。

本プログラムでは、政府統計や当社が保有する就業構造に関するデータをもとにした将来の産業構造の変化や、「子どもたちが大人になった時に求められるスキルや人材像」などの最新のキャリア情報を学ぶことが可能です。これらの情報は、当社が京都市教育委員会をはじめとする複数の教育委員会との連携を通じて、継続的に更新しているものです※5。さらに、企業や大学とも連携し、FIORA 高等学校（仮称）をはじめとする産官学連携の先進的な取り組みを紹介し、新たな教育や進路の選択肢を知ってもらう機会とします。

初回のキャリア教育セミナーは、2026 年度中に、「テクノロジーがひらく、学びとキャリアの新時代」をテーマに開催を予定しています。なお、来年度以降は他の専門分野をテーマにしたセミナーも開催する予定です。

■大阪府教育委員会 教育長　水野 達朗 氏　コメント

大阪府では、2040 年の未来社会を見据え、2028 年開校予定の「FIORA 高等学校」について、「未来社会のあたりまえを創発する人材を育成する高等学校」をコンセプトに、これまで

にない次世代型の専門高校として開校準備を進めているところです。子どもたちが FIORA 高等学校をはじめとする専門高校の魅力を十分に理解し、自らのキャリアを主体的に描きつつ進路選択を行うためには、中学生への働きかけだけでなく、子どもたちに大きな影響を与える保護者の皆様にも、「これからの社会で求められる力」について理解を深めていただくことが重要だと考えております。今回の連携を通じて、保護者の皆様が最新のキャリア観に触れられる機会の創出に取り組んでまいりたいと考えております。

■株式会社ビズリーチ 代表取締役社長　酒井 哲也　コメント

このたび、大阪府教育委員会様と連携協定を締結できることを光栄に思います。当社は、SDGs達成に向けたサステナビリティプログラム「みらい投資プロジェクト」を通じて、これまで中高生や教員の皆様に向けたキャリア教育支援に取り組んできました。その活動のなかで、子どもたちの進路選択には「保護者のキャリア観」が非常に重要な役割を果たすことを実感しています。仕事の内容や求められるスキルが劇的に変化するなか、保護者がかつての常識を見直し、最新の社会動向を知ることは、子どもたちの可能性を広げる第一歩となります。本取り組みを通じて、当社が培ってきた最新のキャリア情報を保護者にお届けし、子どもたちが将来、自らのキャリアを主体的に選択できる力を育む機会を創出してまいります。

※1 経済産業省「2040 年の就業構造推計（改訂版）について」
※2 文部科学省「N-E.X.T.ハイスクール構想」
※3 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「高校生活と進路に関する調査（2024）」
※4 調査概要
調査内容：教育とキャリアに関する調査
調査対象：ビズリーチ会員
調査期間：2026 年 2 月 18 日～2026 年 2 月 24 日
有効回答数：610
※5 京都市教育委員会とビズリーチ、「教員向けキャリア教育」に関する包括連携協定を締結

■即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」について

ビズリーチは企業と求職者が直接やりとりできるプラットフォームがなかった人材業界において、人材データベースを企業に開放することで採用市場を可視化しました。また、企業が求職者へ自らアプローチできるプラットフォームを提供することで、企業が必要としている人材を採用するために、あらゆる手段を主体的に考え、能動的に実行する採用活動「ダイレクトリクルーティング」を推進し、優秀な人材のスピーディーな採用をご支援しています。また、求職者も今まで知りえなかった企業からアプローチを受けることで、キャリアの選択肢と可能性を最大化することが可能です。

URL：求職者向け https://www.bizreach.jp/
　　企業向け https://bizreach.biz/service/bizreach/

■株式会社ビズリーチについて

「キャリアに、選択肢と可能性を」をミッションとし、2009 年 4 月より、働き方の未来を支えるさまざまなインターネットサービスを運営。東京本社のほか、大阪、名古屋、福岡、静岡、広島に拠点を持つ。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」、社内スカウトで人材流出を防ぐ「社内版ビズリーチ by HRMOS」、人財活用プラットフォーム「HRMOS（ハーモス）」シリーズ、OB/OG 訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」を展開。産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するさまざまな事業を展開する Visional グループにおいて、主に HR Tech のプラットフォームや SaaS 事業を担う。

URL：https://www.bizreach.co.jp/